

地域と連携して取り組む安定的な後継牛の育成

活動対象：土別市公共牧場運営協議会

(利用農家土別市 11 戸・1 組織、和寒町 5 戸)

関係機関：土別市、JA 北ひびき、NOSAI 上川北支所他

【概要】

預託牧場（土別市公共牧場）が抱える課題に対し、預託農家および関係機関で構成される土別市公共牧場運営協議会で実態把握、課題整理、改善取り組みを共有して改善に取り組んでいる。1 年目は放牧地や牧場施設・設備の課題整理と改善案が共有され、放牧地の施肥時期が改善された。牧場の運営者（土別市）と管理者（JA）の連携も深まった。

【背景】

後継牛を
預託

土別市、和寒町
畜産農家の 7 割

土別市
公共牧場

発育にばらつき

【目標】 令和 3～4 年度

実態

課題

改善目標

改善取組

預託農家、関係機関で共有し、改善に取り組む
(土別市公共牧場運営協議会)

【取り組み内容】(1 年目：令和 3 年度)

5, 8 月 ●土別市公共牧場（以下、牧場）の植生調査

5, 10 月 ●牧場預託牛の発育調査

6～10 月 ●放牧地の施肥時期および牧区管理の改善提案
●牧場施設・設備の課題整理、改善案作成支援

6～12 月 ●預託農家の生産状況や意向確認

食べられる草が
ないのかな？

施設・設備の
課題は？

施肥時期は
すぐに変えら
れそうだね



放牧地の植生を確認

【取り組みの結果】

植生の
半分は牧草

肥培管理、牧区管理の
改善で採食量向上期待

施肥時期が改善された

5月中旬 → 7月中旬

- 放牧地の不食過繁草の抑制
- 夏以降の放牧草の草勢確保

石灰も散布

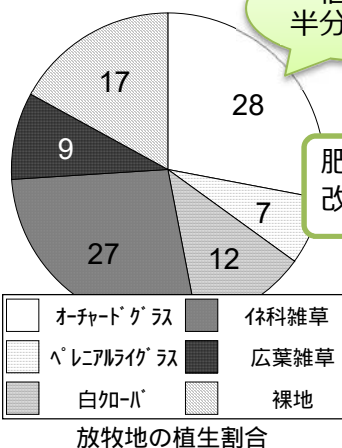
改善に向けた協議・検討の場ができた

管理者
(土別市)

運営者
(JA)

ほか
関係機関

預託農家



【今後の取り組み】

- 石灰散布や施肥時期変更の効果の確認
- 管理改善を可能にする作業体系の提案、改善支援
- 管理・運営改善に対する目的意識の共有

